

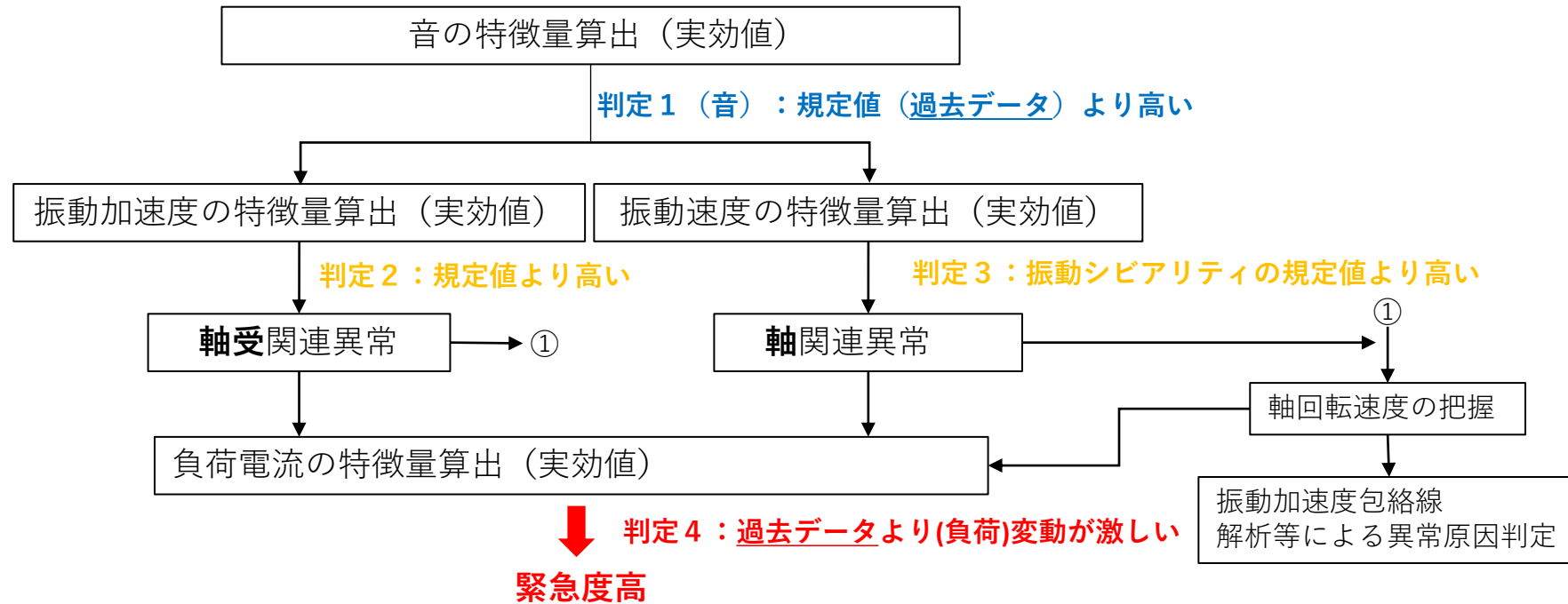
軸受診断アルゴリズムの診断フロー

緊急度なし

緊急度低

緊急度中

緊急度高



<判定方法>

判定1：音が規定値（過去データ）より高い（音実効値） → 音の実効値（半日の平均値または瞬間値）が、これまでの最低値（半日の平均）の2倍を超える。

出力：（最低値の）X倍（2倍以上の値）

判定2：振動加速度が規定より高い（振動加速度実効値）
（振動加速度包絡線実効値）

→ 神童君DBに規定される軸受の注意値、限界値を超える。

出力：正常0、注意値超1、限界値超2

判定3：振動速度が規定より高い（振動速度実効値）

→ 振動シビアリティ (JIS B 0906) の注意値（ゾーンC）、限界値（ゾーンD）を超える。

出力：正常0、注意値超1、限界値超2

判定4：過去データより(負荷)変動が激しい（負荷電流ピーク値）

→ 負荷電流の変動係数（半日間）が、（その間の）最低値に対して2倍以上である。

出力：（最低値の）Y倍（2倍以上の値）

軸受診断による緊急度（アラートレベル）の判定基準

緊急度	判定				内容
	音	振動加速度	振動速度	電流	
0	○	○	○	○	正常
1	×	○	○	○	異常の兆候
2	×	△	or △	○	異常の発生 (要調査)
3	×	×	or ×	○	重度の異常 (速やかに対応)
4	×	△	or △	×	重大な異常 (直ちに対応)
5	×	×	or ×	×	緊急事態 (手遅れに近い)

凡例

○：正常

△：注意

×：異常

低

緊急度

高

※ 振動加速度または振動加速度包絡線のアラート出力が該当